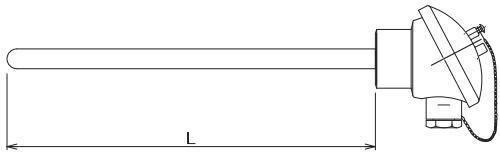
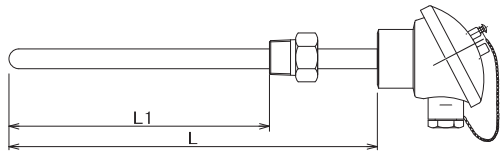
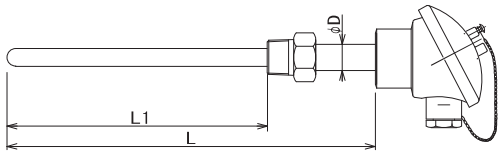
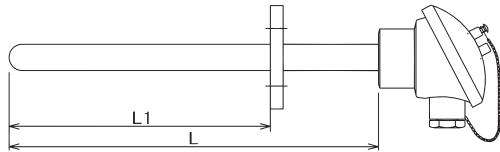
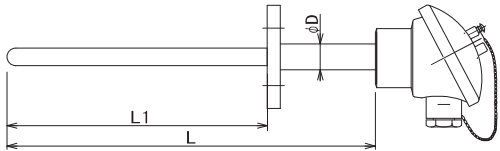
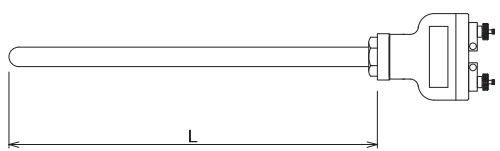
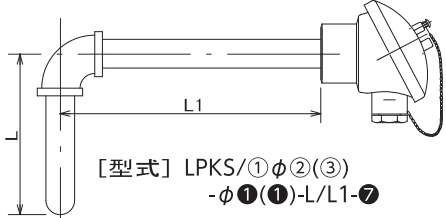
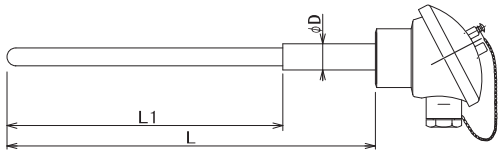
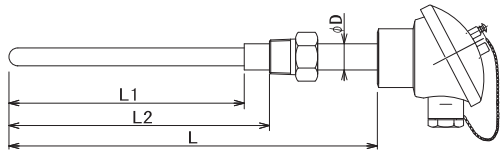
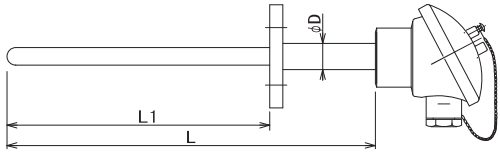
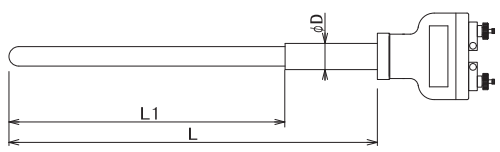


保護管付き熱電対

<p>PKS/L</p>  <p>[型式] PKS/①φ②(③)-φ①(①)-L-⑦</p>	<p>PNKS/L</p>  <p>[型式] PNKS/①φ②(③)-φ①(①)-③-L/L1-⑦</p>
<p>PNCKS/L</p>  <p>[型式] PNCKS/①φ②(③)-φ①(①)-③-2-L/L1-⑦</p>	<p>PFKS/L</p>  <p>[型式] PFKS/①φ②(③)-φ①(①)-④-L/L1-⑦</p>
<p>PFCKS/L</p>  <p>[型式] PFCKS/①φ②(③)-φ①(①)-④-2-L/L1-⑦</p>	<p>PTS/L</p>  <p>[型式] PTS/①φ②(③)-φ①(①)-L-⑦</p>
<p>LPKS/L</p>  <p>[型式] LPKS/①φ②(③) -φ①(①)-L/L1-⑦</p>	
<p>GCKS/L</p>  <p>[型式] GCKS/①φ②(③)-φ①(①)-②-L/L1-⑦</p>	<p>GCKNS/L</p>  <p>[型式] GCKNS/①φ②(③)-φ①(①)-②-③-L/L1/L2-⑦</p>
<p>GFCKS/L</p>  <p>[型式] GFCKS/①φ②(③)-φ①(①)-④-2-L/L1-⑦</p>	<p>GCTS/L</p>  <p>[型式] GCTS/①φ②(③)-φ①(①)-②-L/L1-⑦</p>

※S/Lの付いている型式は、端子箱の大きさにより型式が変わります。上記は全てKS端子箱にて表記しております。
例：PKS⇒端子箱がKSの場合、PKL⇒端子箱がKLの場合です。P.10の⑦端子箱参照ください。

保護管付き熱電対

①~②熱電対の使用限度

熱電対の種類	素線径	常用限度(°C)	加熱使用限度(°C)	クラス	JIS C 1602		
					測定温度	許容差	
B	0.5	1500	1700	2	600°C以上 1700°C未満	±0.25%	
				3	600°C以上 800°C未満 800°C以上 1700°C未満	±4°C ±0.5%	
R・S	0.5	1400	1600	2	0°C以上 600°C未満 600°C以上 1600°C未満	±1.5°C ±0.25%	
N	0.65	850	900	1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 1000°C未満	±1.5°C ±0.4%	
	1.0	950	1000		2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 1200°C未満	±2.5°C ±0.75%
	1.6	1050	1100	3		-167°C以上 40°C未満 -200°C以上 -167°C未満	±2.5°C ±1.5%
	2.3	1100	1150			1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 1000°C未満
	3.2	1200	1250	2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 1200°C未満		±2.5°C ±0.75%
K(CA)	0.65	650	850	1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 1000°C未満	±1.5°C ±0.4%	
	1.0	750	950		2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 1200°C未満	±2.5°C ±0.75%
	1.6	850	1050	3		-167°C以上 40°C未満 -200°C以上 -167°C未満	±2.5°C ±1.5%
	2.3	900	1100			1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 800°C未満
	3.2	1000	1200	2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 900°C未満		±2.5°C ±0.75%
E(CRC)	0.65	450	500	1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 800°C未満	±1.5°C ±0.4%	
	1.0	500	550		2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 900°C未満	±2.5°C ±0.75%
	1.6	550	600	3		-167°C以上 40°C未満 -200°C以上 -167°C未満	±2.5°C ±1.5%
	2.3	600	750			1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 750°C未満
	3.2	700	800	2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 750°C未満		±2.5°C ±0.75%
J(IC)	0.65	400	500	1	-40°C以上 375°C未満 375°C以上 750°C未満	±1.5°C ±0.4%	
	1.0	450	550		2	-40°C以上 333°C未満 333°C以上 750°C未満	±2.5°C ±0.75%
	1.6	500	650	3		-	-
	2.3	550	750			1	-40°C以上 125°C未満 125°C以上 350°C未満
	3.2	600	750	2	-40°C以上 133°C未満 133°C以上 350°C未満		±1°C ±0.75%
T(CC)	0.32	200	250	1	-67°C以上 40°C未満 -200°C以上 -67°C未満	±1°C ±1.5%	
	0.65	200	250		2	-	-
	1.0	250	300	3		-	-
	1.6	300	350		-	-	

①には熱電対の種類、②には素線径を表記して下さい。
型式の表記例：K 熱電対のφ2.3の場合①には **K**、②には **2.3** と表記して下さい。

③熱電対の対数

③には対数 シングル(S)、ダブル(D)を表記して下さい。
型式の表記例：ダブルの場合③の部分に **D**と表記して下さい。

■金属保護管

材質	使用限度(°C)		特 性
	常用	最高	
ステンレス鋼 SUS304	900	1,000	耐食、耐熱金属保護管として汎用性を持つ。 硫黄、還元炎に弱い。
ステンレス鋼 SUS316	900	1,000	SUS 304 に同じであるが、耐薬品性が良い。
ステンレス鋼 SUS310S	950	1,050	耐食性、耐酸化性が良い。
SUH446 (P4)	1,050	1,125	27Cr 鋼。塩浴、熔融金属用、高温用耐酸性に優れ、硫酸を含む酸化・還元炎にも強い。

■非金属保護管

材質	使用限度(°C)		特 性
	常用	最高	
セラミック PT2	1,300	1,450	JIS R 1401 PT2 に相当。石炭炉、重油炉、電気炉の測温用、耐熱衝撃性に劣る。
セラミック PT1	1,500	1,600	JIS R 1401 PT1 に相当。加熱炉、蓄熱室の高温部の測温用、耐熱衝撃性に劣る。
再結晶アルミ PT0	1,700	1,900	JIS R 1401 PT0 に相当。スラッグ、溶鋼、溶融ガラスなどの測温用、耐熱衝撃性に劣る。
石英 QT	1,000	1,050	JIS R 1401 QT に相当。耐熱衝撃性に優れる。耐アルカリ性に劣る。